

農場長より

本年度は公開文化祭「耶麻農高祭」が行われ、多くの保護者をはじめ、地域の方々にもたくさん来校頂きました、あらためて感謝申し上げます。

学校でもいろいろと準備を重ね、耶麻農高のことをいろいろ紹介しようと全校生・全職員で取り組みました。

農場部においては、授業で育てたシクラメンなどの草花や野菜、学校産コシヒカリの白米・そば粉など農産物の販売と生徒達の研究の様子を紹介しました。農業科学基礎で各自が区画された圃場で栽培した野菜を顔写真付きで紹介しました。作物・畜産・草花・野菜の専攻に分かれる「課題研究」で取り組んでいる研究の発表や展示をしました。普段見れない高校での学習活動の様子がわかっていただけたでしょうか。

収穫の秋を終え、本校農場の生産状況についてお知らせします。今年の天候は7月まで雨の多い日が続き、冷害も予想されました。8月に入って高温が続く、天候不順も持ち直した部分もありますが、コメの収量は例年にはとどまらなかった。その他の農産物は順調に生育し、計画数量を生産することができました。



作物部門

熱塩小学校との交流学习があり、サツマイモ栽培など小学校に向いて高校生と一緒に実習をしました。参加した作物班では小学生に実習の技術指導ができました。

次に、農場の生産においては、水稻の収量は少なかったですが、病害虫などの目立った被害は発生せず、全量一等米で出荷することができました。それ以外の生産量は例年並に生産をあげることができました。

また、外部講師による指導で1年生がそば打ちの実習を行いました。全員が自分で打ったそばを家族に食べてもらうことができました。山都はそばの産地で名の知れたところなので、学校の特色としてそば打ちの実習は今後も継続し、資格取得にまで進めたいと考えています。



畜産部門

今年は、5頭の肥育牛を出荷することができました。格付けは、A5~2頭、A4~1頭、A3~2頭という結果になりました。そのうちA4の牛肉を11月3日に行われた「耶麻農高祭」に串焼きで販売し好評を得ました。生徒達は、当初、自分で管理していた牛の肉ということでこの企画に抵抗があったようですが、試食をして吹っ切れたようです。

また、9月7日には雌牛が誕生しました。この子牛も2週間ごとに体重を計測し生育を調査しています。

次に、プロジェクト学習は、来年1月末に行われる校内研究発表会に向けて2・3年生共まとめの段階に入っています。良い発表ができるよう指導していきたいと考えています。



野菜部門

今年度の秋・冬野菜は、白菜・大根・ミズナ・コマツナ・ホウレンソウ・春菊を作付しました。文化祭での販売も好調でした。現在、露地栽培野菜は終了し、ミズナ・コマツナ・ホウレンソウ・春菊をハウス内で栽培しています。冬期休業中でも学校に来ていただければ販売は可能です。

プロジェクト学習では、3年生は、昨年に続き「海洋深層水・ケイ酸・木酢液散布が生育に及ぼす影響について」をテーマに調査・研究に取り組んでいます。2年生は、「作物の基本的栽培技術及び優品率を向上させるための栽培方法」について調査してきました。現在では1年間のまとめをおこなっています。1月に行われる校内研究発表会が楽しみです。



草花部門

シクラメンを研究題材に今年も取り組んできました。昨年の実生苗（購入種子）と購入苗（いわき産）との比較試験では、実生苗の方が良いことがわかり、本年度のシクラメンは全て実生苗となっています。

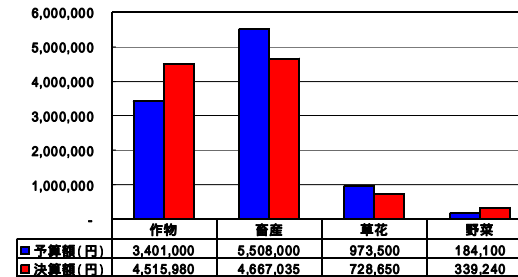
本年度の研究テーマは「シクラメンの鉢底土の違いによる生育の違い」です。従来は、シクラメンの鉢底土は軽石でしたが今年から腐葉土との比較試験を実施してみました。その結果、両者に大きな差がない事がわかり、作業しやすい事と価格の安い腐葉土を利用した方が良いことがわかりました。

保護者会時に限り「シクラメン」格安にて販売!!
場所・・・本校温室



実習会計

平成19年度 農場会計 中間報告



本年度の農場会計の中間報告をします。(11月末現在) 今年8月~9月にかけての暑さで各部門に影響が出ました。特に、シクラメンの成長に影響が出て、その後の開花期にまで響いてしまいました。

他にもイネの高温障害による減収・肥育牛2頭が暑さで食欲が減り、そのため体重が減り出荷期が大幅に遅れるなどしました。

そのような中でも各部門精一杯努力し、予算額1,007万円に対し1,025万円の収入があり、約18万円ほど予算額を上回ることができました。特筆すべき点は、肥育牛の1頭が仕上がり良好で100万円を超えて買い取られました。

今後、仔牛の出荷などの予定があり約100万円ほどの収入が見込まれます。

農業クラブより

夏休み中に行われた各種大会の報告をします。まず、7月24~25日にかけて行われた意見研究発表大会には4部門に6名が出席し、3-1の齋藤啓輔君が意見発表で優秀賞に入賞しました。

次に、7月26~27日に行われた技術競技大会では農業鑑定競技に4名・情報処理競技には2名出場して、農業鑑定競技では1-1の佐藤涼子さん、情報処理競技においては3-1の木崎大悟君が優秀賞に入賞しました。大会1ヶ月前より放課後残って勉強や練習をしてきた成果の表れです。

なお、佐藤涼さんは10月に広島県で行われた全国大会に出場し、大会の模様を文化祭で発表しました。

